

少数台数のリコール届出の公表について（令和7年3月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和7年3月は15件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのものについては、こちらへの記載はしておりません。

1. 株式会社アイチコーポレーション

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月4日	5611	車名：トヨタ 型式：YDN-A5SDK7 他 通称名：トヨタ ジョブサン	4台	令和6年11月6日 ～ 令和6年11月19日
不具合の部位等				
ショベル・ローダにおいて、EGRを固定するボルトの締付トルクの確認方法が不適切なため、締付トルクが不足しているものがある。 そのため、そのままの状態で使用が続けると、ボルトが緩み隙間から異物を吸い込むことで原動機が破損し、最悪の場合走行不能となるおそれがある。				

2. フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入日
3月6日	外3952	車名：ランボルギーニ 型式：7LA-ZMREV 通称名：レヴェルト	1台	令和6年8月20日
不具合の部位等				
エンジン潤滑装置のエンジンオイルラジエターからオイルタンクへの配管にある接続フランジボルトにおいて、作業指示が不適切なため、締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、使用過程において当該ボルトが緩み、フランジ部からオイルが漏れて排気管の高温部分に接触し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。				

3. Polaris Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月7日	外3957	車名：インディアンモーターサイクル 型式：8BL-S 通称名：Scout Bobber 他	86台	令和6年 4月19日 ～ 令和7年 1月24日
不具合の部位等				
ECM（エンジンコントロールモジュール）において、設計検討が不十分なため、ギヤが入っているにもかかわらず、メーター上のギヤ位置がニュートラルと表示することがある。 そのため、その状態でエンジン始動操作等を行うと、意図せず車両が動き、最悪の場合、転倒するおそれがある。				

4. 株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月10日	5619	車名：コマツ 型式：YDS-WA142 他 通称名：WA470-10 他	41台	令和4年 8月 9日 ～ 令和6年11月13日
不具合の部位等				
ショベル・ローダの燃料ポンプにおいて、チェックバルブを組付けるねじ部の設計検討が不十分なため、強度が不足しているものがある。そのため、チェックバルブを組付けた際にねじ部に亀裂が生じたものがあり、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。				

5. 酒井重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月10日	5620	車名：サカイ 型式：YDS-1ER13 他 通称名：ER555F 他	64台	令和5年 9月14日 ～ 令和6年12月24日
不具合の部位等				
グレーダ及びロード・スタビライザの燃料ポンプにおいて、チェックバルブを組付けるねじ部の設計検討が不十分なため、強度が不足しているものがある。そのため、チェックバルブを組付けた際にねじ部に亀裂が生じたものがあり、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。				

6. ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月10日	外3919	車名：BMW 型式：3CA-22GW20 他 通称名：BMW 523d xDrive ツーリング 他	20台	令和6年 6月18日 ～ 令和6年 7月 3日
不具合の部位等				
電動パワーステアリング機構の一部であるダブルユニバーサルジョイントにおいて、材質の選定及び製造工程が不適切なため、当該ジョイントの一部の強度が不足しているものがある。また、それらの部品において、生産ライン等での廻り品質チェックの際の作業が不適切なため、過度に引っ張られたことにより当該ジョイント部が伸長したものや落下した部品を再使用したものがある。これらの複合要因のため、ステアリングホイールを最大までの操舵時などで強いせん断力がかかると当該ジョイントの一部が破損して、ステアリングコラムから異音が発生し、そのまま使用を続けると、最悪の場合、予期せぬ強い操舵力が必要となるおそれがある。				

7. 株式会社丸山製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月12日	5622	車名：丸山 型式：YDN-B204A 通称名：BSA-2000CH 他	35台	令和5年 2月22日 ～ 令和5年 8月31日
不具合の部位等				
農業用薬剤散布車のプロペラシャフトにおいて、フランジ部の塗装工程が不適切なためボルト締結部の塗装の状態が悪く、締結部分の塗装面が剥がれ、締結ボルトが緩むことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトとともにプロペラシャフトが脱落し走行不能になるおそれがある。				

8. Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
3月12日	外3646	車名：アルファロメオ 型式：3AA-AV115 通称名：トナーレ	82台	令和5年 1月 6日 ～ 令和5年 4月21日
不具合の部位等				
駆動バッテリーケースのプレッシャーバルブにおいて製造管理が不適切なため、プレッシャーバルブの耐水性能が不十分なものがある。そのため、バッテリーケース内が浸水すると、内部のバッテリーモジュールが短絡し、火災に至るおそれがある。				

9. Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
3月12日	外3951	車名：ジープ 型式：3LA-BV13 他 通称名：レネゲード	56台	令和2年10月30日 ～ 令和6年 3月18日
不具合の部位等				
12V バッテリー充電用リアケーブルにおいて、製造工程が不適切なため、接続端子の締め付けが不十分な ものがある。そのため、12V バッテリーへの充電が行われず、走行中にエンジンが停止するおそれがある。 また、助手席下の接続端子が過熱し、端子カバー及び周辺部位が溶損するおそれがある。				

10. 日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月13日	5627	車名：ニッサン 型式：6AA-E13 他 通称名：ノート 他	15台	令和6年12月 2日 ～ 令和6年12月24日
不具合の部位等				
発電用エンジンのコネクティングロッドにおいて、製造時の加工が不適切であったため、締結部のねじ山 が不足しているものがある。そのため、使用過程においてコネクティングロッドが締結不足により破損し て、発電用エンジンが停止し、最悪の場合、電力が不足して走行不能に至るおそれがある。				

11. ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
3月19日	外3961	車名：BMW アルピナ 型式：7AA-42EM 通称名：XB7	22台	令和5年 7月14日 ～ 令和7年 1月 6日
不具合の部位等				
統合ブレーキユニットにおいて、製造管理が不適切なため、モーターセンサーの回路基板に異物が付着し たものがある。また、コンタクトピン長さの設計検討が不十分なため、モーターセンサーの回路基板との 接触圧によりノイズが発生する。そのため、電氣的接触不良が発生し、ブレーキ警告灯の点灯およびチェ ックコントロールメッセージが表示される。そのまま走行を続けると、フォールバックモードとなること によりブレーキ操作時に通常よりも強い踏力が必要になり、次回にエンジンの始動ができなくなるおそれ がある。				

12. トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月26日	5629	車名：トヨタ 型式：MT018 通称名：—	8台	令和6年 4月18日 ～ 令和6年11月 8日
不具合の部位等				
モバイルトイレ(糞尿フルトレーラ)のフレームにおいて、耐久性の検討が不十分なため、走行時の負荷により亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、破断して走行できなくなるおそれがある。				

13. Ferrari Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
3月28日	外3918	車名：フェラーリ 型式：7LA-171K 他 通称名：296GTB 他	6台	令和5年 3月14日 ～ 令和6年 3月19日
不具合の部位等				
ドライブシャフト連結部の取付ボルトにおいて、作業管理が不適切なため、規定トルクで締め付けられていないものがある。 そのため、使用過程で取付ボルトが緩み、最悪の場合、取付ボルトがすべて脱落することにより動力が伝達されず、走行不能となるおそれがある。				

14. マセラティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
3月28日	外3974	車名：マセラティ 型式：7BA-M189 通称名：グランツーリスモ	72台	令和5年 7月23日 ～ 令和6年 5月21日
不具合の部位等				
フロントエアサスペンションシステムにおいて、設計検討が不十分なため、プラスチック製ピストンケースの剛性が不足しているものがある。そのため、転舵時のねじり応力によりピストンケースがわずかに変形することでダンパーラバーとの隙間からエア漏れ、車両前部の車高が下がるおそれがある。				

【参考】

●令和7年3月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 9（+ 1 2）	1 3（+ 7）	6（+ 5）
輸入車	2 8（+ 9）	1 9（+ 9）	9（± 0）
計	4 7（+ 2 1）	3 2（+ 1 6）	1 5（+ 5）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	6(-11)	9(-2)	15(-13)	138, 920(-270, 681)	8, 984(-42, 176)	147, 904(-312, 857)
5	12(+2)	16(+9)	28(+11)	360, 641(+75, 824)	161, 635(+143, 833)	522, 276(+219, 657)
6	18(-1)	17(-1)	35(-2)	380, 288(-711, 202)	39, 246(-2, 130)	419, 534(-713, 332)
7	24(+7)	14(+1)	38(+8)	313, 279(-850, 099)	93, 570(-105, 350)	406, 849(-955, 449)
8	2(-11)	12(±0)	14(-11)	1, 723(-29, 077)	41, 982(+37, 820)	43, 705(+8, 743)
9	10(+1)	15(-10)	25(-9)	1, 753, 772(+1, 671, 846)	21, 495(-13, 465)	1, 775, 267(+1, 658, 381)
1 0	27(+11)	16(-4)	43(+7)	1, 421, 342(+1, 331, 387)	72, 313(+38, 396)	1, 493, 655(+1, 369, 783)
1 1	17(-4)	9(-3)	26(-7)	28, 614(-1, 446, 860)	25, 444(+865)	54, 058(-1, 445, 995)
1 2	15(+5)	17(+2)	32(+7)	262, 485(-973, 379)	66, 771(+52, 791)	329, 256(-920, 588)
1	9(-5)	7(-9)	16(-14)	2, 062, 470(+378, 110)	2, 645(-8, 420)	2, 065, 115(+369, 690)
2	8(-8)	10(-2)	18(-10)	91, 692(+21, 136)	52, 145(+27, 806)	143, 837(+48, 942)
3	19(+12)	28(+9)	47(+21)	109, 489(+99, 670)	54, 023 (34, 106)	163, 512 (+133, 776)
小計	167(-2)	170(-10)	337(-12)	6, 924, 715(-703, 325)	640, 253(+164, 076)	7, 564, 968(-539, 249)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 久米・柏原 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42361）
--